

## 社会資本総合整備計画の事後評価について 「国際競争力を備えた港湾施設の整備（防災・安全）」

本事業は、老朽化等により利用効率の低下した港湾施設等に、適切な改良を加え、施設の継続・延命化を図り、国の直轄事業等による港湾整備と一体となって、わが国の国際海上輸送の拠点作りを進め、国際コンテナ戦略港湾を実現するとともに、地震・風水害等が発生した場合においても港湾機能が維持できるように施設の耐震化等の防災対策を行うものです。

本計画においては、平成22年～26年を目標年次とし、老朽化した防波堤や岸壁、臨港道路に対する適切な改良、また神戸新交通ポートアイランド線や六甲アイランド線に対する耐震化等を着実に進捗させました。

平成28年度には、本事業の事後評価に関して「建設外部評価委員会」において審議が行われましたので、その評価結果を事後評価書にまとめ、国土交通省へ提出するとともに神戸市ホームページで公表いたします。